

八乙女

編集 南山見公民館
発行

平成17年1月31日発行

No. 81

富山県南砺市川原崎15
TEL (0763) 82-5176

南砺富士大空に飛ぶ初鴉

朝倉一夫



年頭のご挨拶

南砺市議会議員 才川 昌一

昨年、十一月の南砺市議会議員選挙におきまして、たくさんの方々の御支持をいただき、南砺市議会の議員に就かせていただくことになりました。責任の重大さを感じるとともに身の引き締まる思いでございます。

何といたっても、新しくできた南砺市です。まだまだたくさんの方々の協議が必要だと思っております。

三位一体の改革に伴う今後の地方行政のあり方が問われておりますが、そのためには行政改革の推進は避けて通れない問題です。また、この地域にとつては何より、今後の農業をどのように推進していくか、それこそ皆様方で協議していかねばなりませんし、そのほか、揺れ動く教育基本法の改定論議の中で学力低下などが懸念される教育問題、福祉の充実、危機管理に伴う防災計画など多くの問題が山積しております。

しかし、少子化対策こそが何よりも問題の根幹ではないかと考えております。

次代を担う子供たちに、この合併をしてよかったですと思ってもらえるために、皆様方とともに考え作り上げていきたいものだと、改めて考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願いいたします。



新しい気持ちで

須川 誠
(平成五年生)



去年までは、あまり人の意見を聞かずに一人

人でやっていて、責任がなかったように思うので、今年は、友達やクラスみんなの意見をよく聞くようにしようと思っています。今年は高学年になるので、低学年の人、一・二年生に優しくせわをしたい。それに、人と仲よくせつしたい。今年もスポーツ少年団のバスケットに入っているの、バスケットの大会で一度は優勝したいです。

未来へ

小橋文亜紀
(昭和56年生)



人生、積み重ねていくにつれて、一年が短

く感じるということが、最近よくわかります。高校生だったことがつい最近のように感じます。今、僕は薬学の道を進み、調剤薬局で毎日実践の勉強をしています。これからが生涯学習。みなさまのためになりたいと思います。

今年の自分は

斉藤 有佳
(昭和56年生)

気づけば今年で二十四歳となります。何気なく過ごして



きました。が昨年は災害が多く、無事に過ごせたことに

感謝しています。今年も平穩無事に過ごせることを願いつつ、自分を新たに磨き上げ、明るく楽しく元気に夢を追いかけて、常に笑顔で過ごしていきたいと思

花の三十代

青山仁美
(昭和44年生)



今年はいが家の三人の子供達が、小・中学

校へ進学するめでたい年です。家族皆、地域の皆様に支えて頂き、今まで過ごしてきたことに感謝しております。「ええー山ん中の家？」不安な思いで嫁ぎ早十四年。「人の温かさ、自然、たくましさ」いつしか自慢している自分がありました。

この土地で育ててもらった子供達の成長と頑張りと共に、花の三十代、常に前向きであ

責任

前川 聡
(昭和44年生)



毎年子供の数が増えていくと、いつの間

にか自分がいくつなのか忘れる時があります。今年には三巡目の酉年、子供の成長も早いですが、自分も早三十六歳。改めて月日の流れの速さを感じます。

る自分でいたいと思います。

感謝の気持

岩崎 一彦
(昭和44年生)

まだまだ若いと思っていましたが、三回目の干支を迎え今年で三十六才になります。スポーツを趣味にしていま



すが年々体力の衰えを感じています。息子が平成15年

夏から、サッカースポーツ少に入り私もアシスタントとして一緒に汗をかいています。こうして元気でいられるのも家族、親戚、友人、皆の支え、協力があるからと思いい感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れず、日々生活していきたいと思

今年に思うこと

池田 謙二
(昭和32年生)



スマトラ島地震での大きな災害で、世界が助

け合う体制を立ち上げようとするなか、小さな自分に何が出来るのかと問いただす年頭でした。

今年より離農するので、地域と疎遠にならないようにしたい。会社に於いても中堅として、人から頼られるよう頑張ります。



笑顔を忘れないで

池田 八重子
(昭和32年生)



二〇〇五年乙酉年という六〇年に一度の縁起の良い酉年を迎え、改めて自分の目標に思いを寄せてみました。

新たな気持ちで

松長 寿恵子
(昭和20年生)



新しい年を迎え今年で五度目の年女、いつの間にか還暦の年になりました。

今振り返り、この地に嫁いで四十三年間、長いようで短い年月。色々なことがありましたが、何とか乗り越えて来ることが出来ました。これも周りの人や家族のお陰と感謝しています。今年は新たな気持ちで心にゆとりを持ち、趣味で習っている三味線に挑戦、いつになったら上達出来るかな？

人生は一回

直江 稔
(昭和20年生)



それなりに無我夢中で駆け走って、気がつけば還暦を迎えていたという感じがする。人生八十年の時代。まだまだ心身ともに元気で職場においても第一線。これからはしばらくは現役です。先は長い。急ぐことなく、地域の一員として今あることに感謝して、仕事に興味にと多忙な日々を送りたいと思う。

六回目の酉年を迎えて

澤田 久夫
(昭和8年生)



皆様、ご家族そろって健康で新年をお迎えることと、お慶び申し上げます。お陰様で、私も六回目の酉年を迎えさせて頂きました。

願いを込めて

池田 カネ子
(昭和8年生)



この世に生を受けて、早六度目の干支を迎えました。戦中戦後と大変な時代を経験し、飽食の時代を経て現在に至るまで様々な世の移り変わりを眼のあたりにし、感慨

深いものがあります。また、昨今、大変な自然災害に見舞われ、多くの方々が苦勞していらつしやる中で、「何が」「どうして」と自問自答して、神仏に手を合わせる毎日です。今年は何事もなく、平穩な年でありますようにと祈りながら、感謝の心を忘れず過ごして行きたいものです。

感謝の気持ちで

山本 敏子
(大正10年生)



苦しい戦争と敗戦の最中に私達の青春は、夢中の頑張りの中で消えてしまいました。気が付くともう七回目の酉年を迎えました。九年前脳梗塞で入院してからは、半身不自由で杖をたよりによちよち歩きで言葉も充分に話せなくなりました。友達との楽しい会話の出来ないのは淋しいですが、家族みんな親切に世話をしてくれ、また支えになってくれていきます。

趣味

亀田 新三郎
(大正10年生)



終戦の年、父をなくし、翌年「中支」より復員、母一人のわが家へ帰りました。若くして戸主となり、何事にも苦勞をしました。夢のような過去、今は高齢者といわれるわが生涯を思う時、一言でいえば「趣味」に生きたくはなかつたかと思われまふ。主に音楽、そして毛筆浄書、版画等よき指導者に接し、楽しい活動ができました。

とにかく老いと共に社会的存在感のうすれる年頃、今なお、補聴器をつけ乍らも、音楽行事に臨めることが、長寿の最大の支えとなつていふように思えてなりません。



南山見地区 ハ乙女文化祭

第二十七回ハ乙女文化祭は十一月十四日に開催されました。

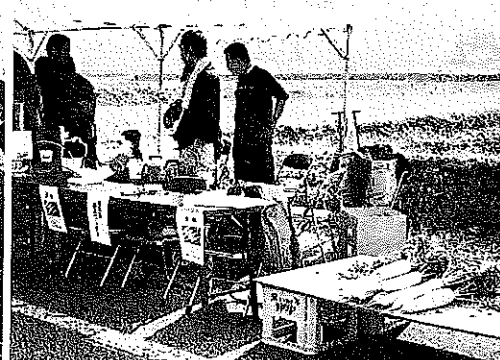


公民館前では、壮年部の果物、魚の即売会や成年部の焼きそば、生ビールなどが威勢のよい掛け声とともに売られていました。グラウンドでは、壮年部のマレットゴルフ大会がありました。館内では、各種団体の活動報告、作品展示があり、海外の珍しい植物もありました。



した。ステージでは、各種グループの発表や各地区児童が考え、一生懸命練習してきた出し物を演じていました。また今回は、ハ乙女風神太鼓や、川原崎出身の碓井雅史さんと友人の平見竜也さんによるサクソフォーンの演奏もありました。南砺市になって初めての文化祭でしたが、内容も盛りだくさんで、とても楽しく、有意義な一日でした。

(児童クラブ 田村紀光記)



花壇作りとクリスマス会



クリスマス会では、クリスマスカード作りやドッチボール、ビンゴゲーム、そしてサンタクロースからのプレゼント。子供達は嬉しそうに、そして恥かしそうにもらっていました。その後みんなでおいしいケーキやジュースを頂きました。

子供達が一生懸命にカード作りに取り組み姿やビンゴゲームでは、あと一つがそろわず、くやしがつている様子を見ていて、私達も一緒に楽しい一日を過ごさせて頂きました。

(母親クラブ 沢田恵美子記)

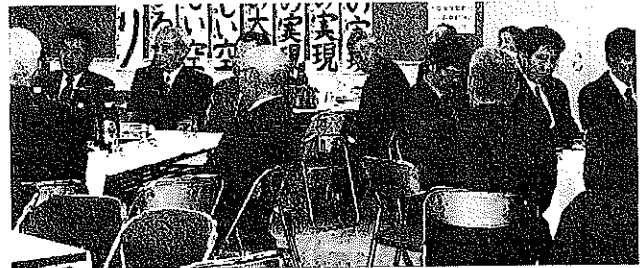


十二月十二日、児童クラブと母親クラブによるクリスマス会と、「花とみどりの少年団」の活動である花壇作りをしました。花壇作りには、花と緑の銀行の方にご指導して頂き、手ぎわ良く作業することが出来ました。

南砺市誕生 初めての 南山見地区「新年の集い」



昨年十一月一日、八町村が合併し南砺市誕生初年、恒例の南山見地区「新年の集い」が一月四日午後六時から、八十余名の住民が相集い盛会に行われました。



澤田清三自治振興会副会長が開催の挨拶をされ、来賓の清都南砺市助役、山本綿貫後援会長、才川南砺市議会議員各位からこの変革時期の市政におもむ力強い抱負を聞き、参会者みんなが新年を祝い、地域住民が健康で日々暮らしていけることを祈念しながら、終始なごやかに盃を交わす新年の集いでした。
(Y・Y記)



ご寄付

一、金参万円也

女性セミナー様

ありがとうございました

平成十六年度

井波町表彰

(南山見地区関係)

自治功勞

前川 哲郎さん

産業經濟功勞

院瀬見生産森林組合

厚生事業功勞

山本 武夫さん

教育功勞

田中 一昭さん

災害防護功勞

前田 吉信さん

お知らせ

・2月17日(木) 午後7時30分より

平成16年度 公民講座

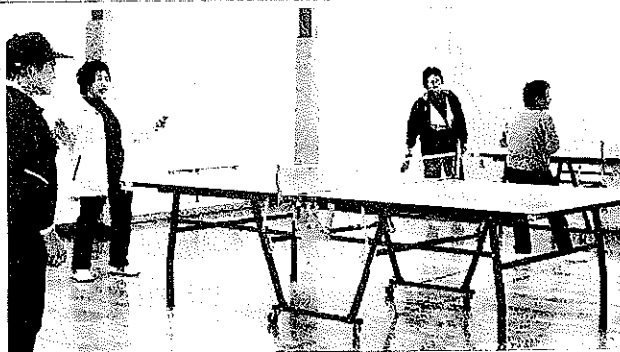
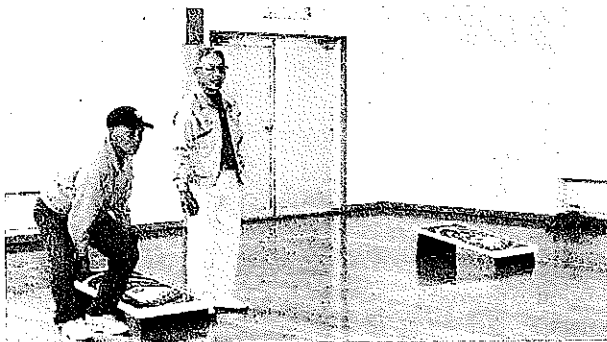
講師 南砺市長 満田 進氏

・2月27日(日) 午前9時より

第16回 南山見地区三世代交流の集い

シルバー軽スポーツ教室

十一月十九日に、井波社会体育館の協力で、今年度第二回目のシルバー軽スポーツ教室が開催されました。前回同様好評のバルパレ、バツゴ、ラージ卓球で心



地良い汗を流し乍ら親睦を深め、終始体育館に賑やかな声がひびいていました。

(事務局)

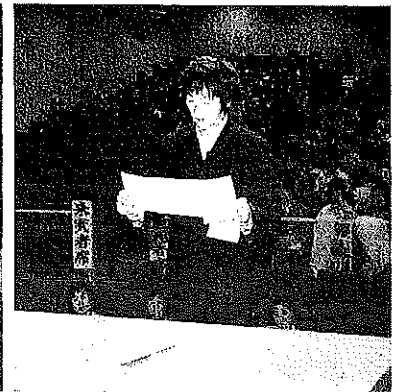
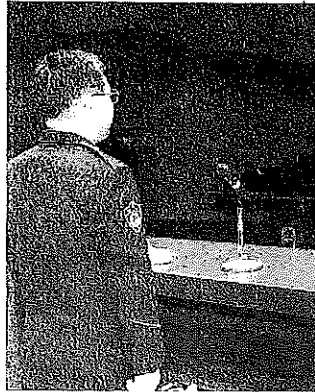
成人式

南砺市となった最初の井波地域成人式は、1月9日文化センターにおいて盛会に行われました。



新成人のみなさん

- 院瀬見第二
- 院瀬見第四
- 東清
- 城玄谷
- 寺
- 板
- 戸
- 沖
- 田高山林池亀前三山小松高山
- 中橋本
- 岡田
- 千麻恵靖隆朝留幸将桂
- 見知幸
- 尋矢美子将美未太之子子美恵



成人をお迎えの皆さん
おめでとーございませう

当地区から、交通安全宣言を力強くされた三浦幸太さんはじめ十三名全員が参加されました。

式典のあと、新成人の企画進行で「成人者の集い」が開催され、それぞれ代表が小・中学校生活の思い出を語り、恩師の先生方よりお祝いの言葉をいただきながら終始なごやかな成人式だったと思います。

新成人の方々には、公民館よりお祝いに辞典をお贈りいたしました。
(事務局)



南山見人口

男	565人
女	617人
計	1,182人

平成16年12月31日現在

阪神・淡路大震災発生から一月十七日で十年を迎えました。甚大な被害をもたらせたあの震災は私達に「命の尊さ」や「生きていくことの喜び」を教えてくれたと思います。天災はいつやってくるかわかりません。日頃からいんな面での備えが必要です。また、この震災で救助された人の八十五%が隣人の助けによるものと聞いています。それには、地域の人が日頃からい人間関係をつくっておくことが大切です。そのことにより、明るく住みよい地域そして社会にもなる第一歩ではないでしょうか。
(雪割草)